

科目名	芸術情報論			科目コード	0226
開講学科	共通専門科目	単位数	4	形態	講義
教員名	市川 衛				
授業の目的及びテーマ					
変革が激しい高度な情報化社会にあって、芸術と情報の新たな諸関係について考察を行い、情報時代の芸術の進化と変容の実像を把握し、自己の創作活動の指針とすることを目的とする。					
授業概要					
コンピュータやネットワークなどを代表とするテクノロジーの進化によってもたされた社会変革は芸術の世界にも大きな変革をもたらした。芸術表現における形態的な進化だけでなく、芸術創作の根底の考え方も大きな変容を受けた。この授業では、テクノロジーや芸術についての従来の概念の見直しから始め、情報時代に初めて登場したコミュニケーションやメディアのあり方について芸術の文脈から解き明かすことによって、情報時代の芸術の本質について理解を深めていく。変革が激しい高度な情報時代にあって、自己の創作活動やアイデンティティがどこに位置するのかを自己確認するための多眼的な視野を広めることが、この授業の最終目標である。					
授業計画					
第 1 回：アナログ vs デジタル① アナログとデジタルの実像 第 2 回：アナログ vs デジタル② デジタル特有の発想と境界の曖昧化 第 3 回：バーチャル vs リアル① リアルの対立概念でないバーチャルの本質的な意味 第 4 回：バーチャル vs リアル② バーチャルと芸術の位相 第 5 回：情報と芸術① 美の領域の拡大 第 6 回：情報と芸術② 芸術の情動的構造 第 7 回：情報と芸術③ 芸術表現の情報空間 第 8 回：ハイパーテキスト系メディア① ハイパーテキストが開いた世界と電子ブックの進化論 第 9 回：ハイパーテキスト系メディア② ユーザードリブンの優勢化と本の未来 第 10 回：情報時代の映像① テープの力と電子的映像 第 11 回：情報時代の映像② 映像と音・空間・身体 第 12 回：インターメディア系アート① コンピュータの本質 第 13 回：インターメディア系アート② 情報世界との対話 第 14 回：インターメディア系アート③ インタラクティブ表現の本質と方法論 第 15 回：インターメディア系アート④ 『インタラクティブアート宣言』（1994）					
テキスト	市川衛・萩野正昭・瀬島久美子 『芸術情報論』		参考文献		
評価方法：					
提出課題 4 件を以って評価する					